

日本共産党 和歌山市委員会

ひめだ高宏ニュース

No.1229

'18.12.11

12月定例会市議会報告



大相撲の貴ノ岩が付け人に暴力をふるい引退に。今週は体操女子の「パワハラはなかった」との第三者委員会の発表。しばらくモヤモヤが続きます。12月定例会市議会は一般質問が終わり、議案審査の常任委員会が始まります。今号は、今議会に提案された議案の概要について報告します。

12月定例会市議会議案の概要

12月定例会市議会の議案は、市長専決処分などの報告関係が7件で、その主なものは、自動車事故や強風により発生した物損事故の損害補償、市営住宅の使用料等

の支払い請求に関する和解、工事請負契約の変更などです。予算関係では、一般会計では億7063万3千円の増額補正。駐車場管理事業

特別会計で49万円の増額、漁業集積排水事業特別会計で3531万9千円の増額補正。総額19億644万2千円の増額補正となっています。一般会計補正予算の主なものは、7月豪雨や台風被害の復旧を行うものが24件で3億8038万円。小学校・中学校・幼稚園のブロック併整備に3億9531万1千円。同じく冷房設備（熱中症対策）に5億2764万7千円。新市民会館建設費4億9784万6千円（18年度分）です。特別会計補正予算は台風被害の復旧予算などです。条例関係では、和歌し市

人事委員会が行った職員給与改定、職員の勤労手当支給率改定に合わせた議員と特別職の期末手当改定条例、文化財の保護・管理事務を教育委員会から市長部局に

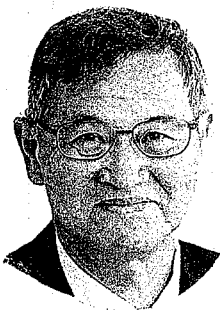
人事委員会が行った職員給与改定、職員の勤労手当支給率改定に合わせた議員と特別職の期末手当改定条例、文化財の保護・管理事務を教育委員会から市長部局に

今週のフツーの人々

(その175)

こんな「そだねー」は?!

12月3日、2018ユニキャン新語・流行語大賞で2月の平島オリビエックでカーリング女子代表チームの選手が交わっていた「そだねー」が大賞に選ばれました。授賞式で「ロコ・ソラーテ」の本橋麻里代表理事が、「ポジティブな言葉だけ発するルールでやってきた。北海道では普通の言葉だ」と述べました。私は選挙の応援で福島県へ2週間ほど行ったとき気づいたので、関西圏と決定的に違う言葉使いは、「そだねー」の発音に「ソ」が「ソ」になる。人ま? 「みたいな否定的言葉が一切ない」として、何を言っても「そだねー」と返してくるので、とても心地よいのです。ただ、すべて理解も納得もしていないわけでもありません。納得していません。「そだねー」も「ソ」のつく言葉です。

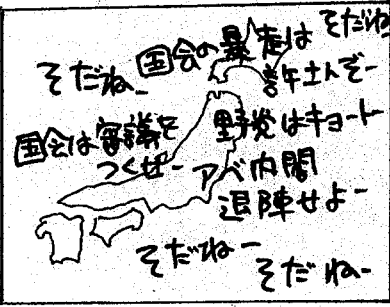
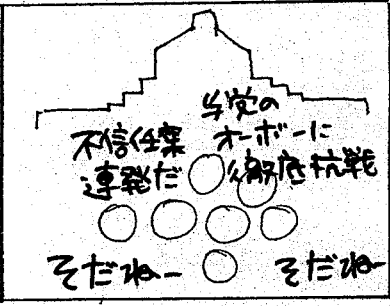
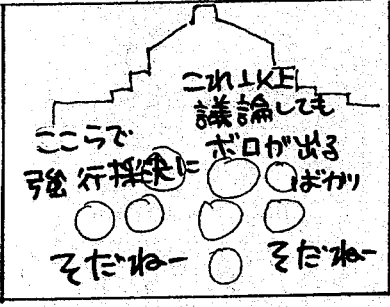


ひめだ高宏

フツーの人々

1012

2018 流行語大賞



12月定例市議会・一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	中谷謙二 (至政クラブ)	・国際交流について ・防災行政について
2	堀 良子 (公明党)	・ため池の防災対策について ・障害者支援について
3	永野裕久 (誠和クラブ)	・選挙事務について ・防災行政について
4	中村元彦 (至政クラブ)	・動物愛護施設・子どもを取り巻く環境整備 ・危険なブロック塀対策
5	ひめだ高宏 (日本共産党)	・防災について ・市役所北駐車場のお幅について
6	西風章世 (公明党)	・家庭教育支援について ・防災対策について
7	森下エチ子 (日本共産党)	・教育行政について ・子どもの貧困対策について
8	木本 隆一 (日本維新の会)	・市民図書館に関し ・IR(カジノ)を含む統合型リゾート施設について
9	松坂みち子 (日本共産党)	・IRについて ・交通政策について
10	丹羽直子 (至政クラブ)	・スポーツ振興について ・災害に強いまちづくりについて
11	南畑エチ代 (日本共産党)	・太陽光発電について ・投票率の向上について
12	園内 浩樹 (公明党)	・小中学校の空調設備について ・災害対策について
13	中村あさこ (日本共産党)	・国民健康保険について ・生活環境の保全について
14	山本忠相 (誠和クラブ)	・大阪万博への対応について ・「子育て環境日本一」への取り組み
15	古川祐典 (至政クラブ)	・文化行政について ・市民福祉の向上について

スマホは、特に若い人に 松坂みち子が

スマホが使えない!
先日、スマホが半日使えなくなりました。地域的なことでなく、日本中で、さらに外国でも起こっていたと聞きびっくりしました。

スマホは、特に若い人には生活必需品といえます。電車に乗るのも、コンサートに行くのもチケット代わりになり、買い物代金を払うのもポイントで終了。世の中便利になったと感じばかりしてらっしゃいます。ひとたび事故れば、たちまち困ってしまうからです。

原因は海外の関連会社に
スマホは、特に若い人に起きた異常だとか。自身では気のつけようもありませんが、知らないうちに、海外とのつながりの中に組み込まれてしまっている怖さを感じました。



松坂みち子
(県議予定候補)

1月から日曜版の300円に

赤旗日曜版は2000年6月に800円に、14年に消費税増税分をお願いして823円にしていた。この18年の間に、日曜版の印刷・輸送に関する部当たりの経費が1.4倍になっています。読者数の後退も少なくなく日刊紙の後退ともあります。この採算は

悪化し、発行経費の削減の努力だけでは打開できず料金値上げが避けられなくなりました。
赤旗日曜版の購読料を1月から930円(税込)に値上げします。どうか今回の購読料値上げの事情をご理解いただき、引き続きご購読いただくようお願いいたします。

第10回 生きるための なんでも相談村

相談無料

支援団体の紹介・火欠出し・健康チェックも

12月22日(土) 10:00~14:30

カトリック屋形町教会(屋形町3-33)

12:00~カレーの火欠出し(無料)

男小生用衣類を。下着は新品に限ります。

カンパにご協力を! 主催「相談村」実行委員会